

同窓会会員 各位

拝啓 平素より母校の教育にご理解いただき、感謝申し上げます。今年度も本科第 39 期生 29 名が無事に卒業し、社会に送り出すことができました。また同窓会会員の皆様が、各船社、各業界においてご活躍されていることに深く敬意を表しますとともに、在校生にとって大きな励みとなっております。

さて、本校におきましては、近年の教員確保の困難な状況が続いており、現行の教育体制を維持することが極めて厳しい状況となっております。慎重に検討を重ねた結果、誠に遺憾ではございますが、令和 8 年度より入学生の募集を停止することといたしました。

一方で、在校生の学びと学校生活に不利益が生じず、給食費の値上げを行うことがないように、給食業務につきましては外部委託から企業利益が生じない直営へと移行することといたしました。より安定した運営体制の確立に努めてまいります。しかしその実現のためには、給食業務支援費用（食材費等）を学校運営資金からの支出は難しく、恐縮ではありますが、同窓会会員の皆様にご支援をお願い申し上げたく、寄附を募ることといたしました。

つきましては、使途特定寄付金（税制優遇措置対象）としての目標金額を 450 万円とし、期限を令和 8 年 9 月末までとさせていただきます。皆様の温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本校のこれまでの歩みを支えてくださった同窓会会員の皆様に、改めて深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご活躍を祈念しております。

敬具

令和 8 年 3 月 24 日

国立館山海上技術学校

校 長 切江 淳二（波方校へ異動）

副校長 山田 豊（次期校長）

同窓会長 毛内 博



本校の給食業務 支援のご協力をお願い

謹啓 桜花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本校の教育につきましては、平素から格別のご理解とご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。

さて残念ではございますが、来年4月からは、新入生を迎え入れず2学年でのスタートとなります。更に令和9年度は1学年となり、給食費の値上げを検討せざるを得なくなりましたが、在校生への負担軽減のため、卒業生OBOGの皆様お力添えをいただけないでしょうか。

可能でしたら、一口5000円からの寄付をお願いいたします。

使途特定寄附金等

下記のQR または
海技教育機構HP「ご寄附のお願い」より、
使途特定寄附金等からお願いいたします。



<https://www.jmets.ac.jp/donation/>

使途特定寄附金は、皆様からご寄附をいただく際に、あらかじめ使い道(使途)を特定していただく寄附金等をいいます。

なおここで言う使い道とは、例えば応援したい特定の学校に対する教材等の寄附や「〇〇学校の教材整備に用いること」といった使い道を定めた寄附金、練習船での「洋上での航海訓練の充実のため使用すること」といった使い道の寄附金、海技大学校等で行われている研究業務に対して「～研究に用いること」といった使い道の寄附金などがございます。

「館山校の給食業務支援に用いること」をご記入ください。